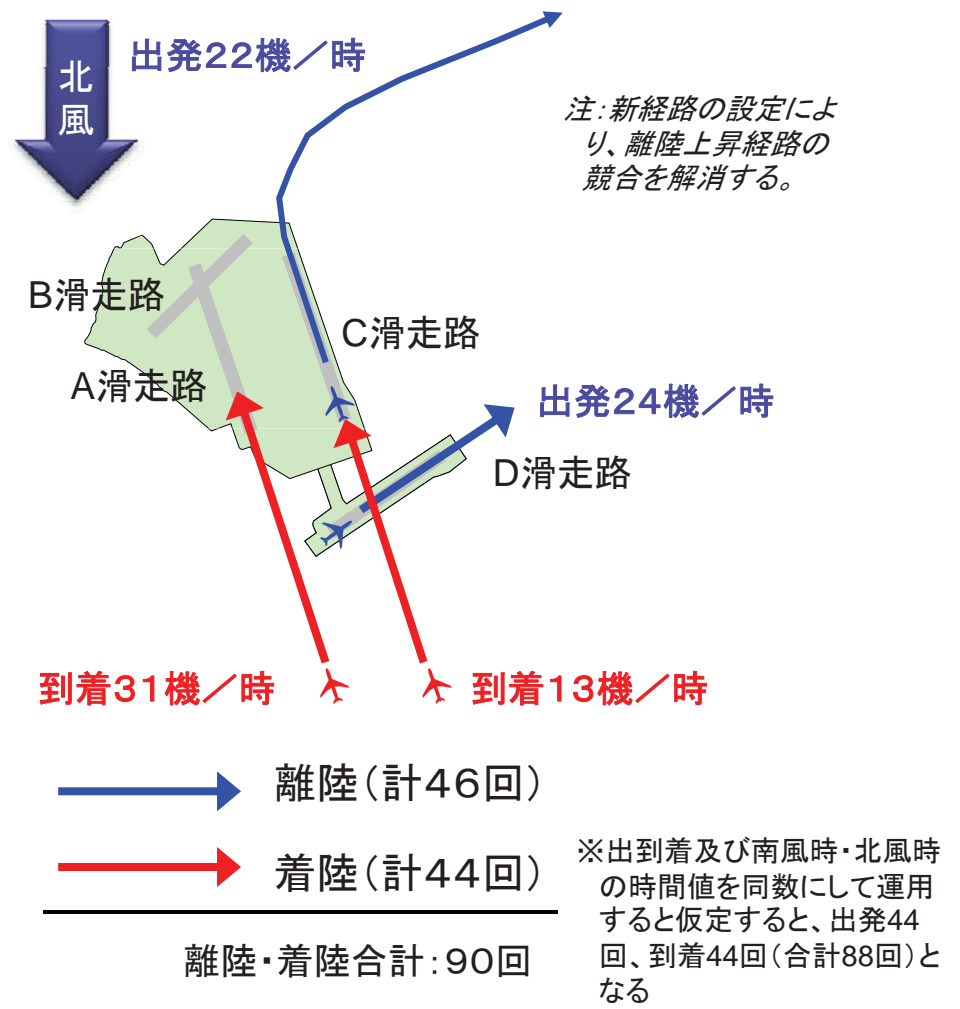
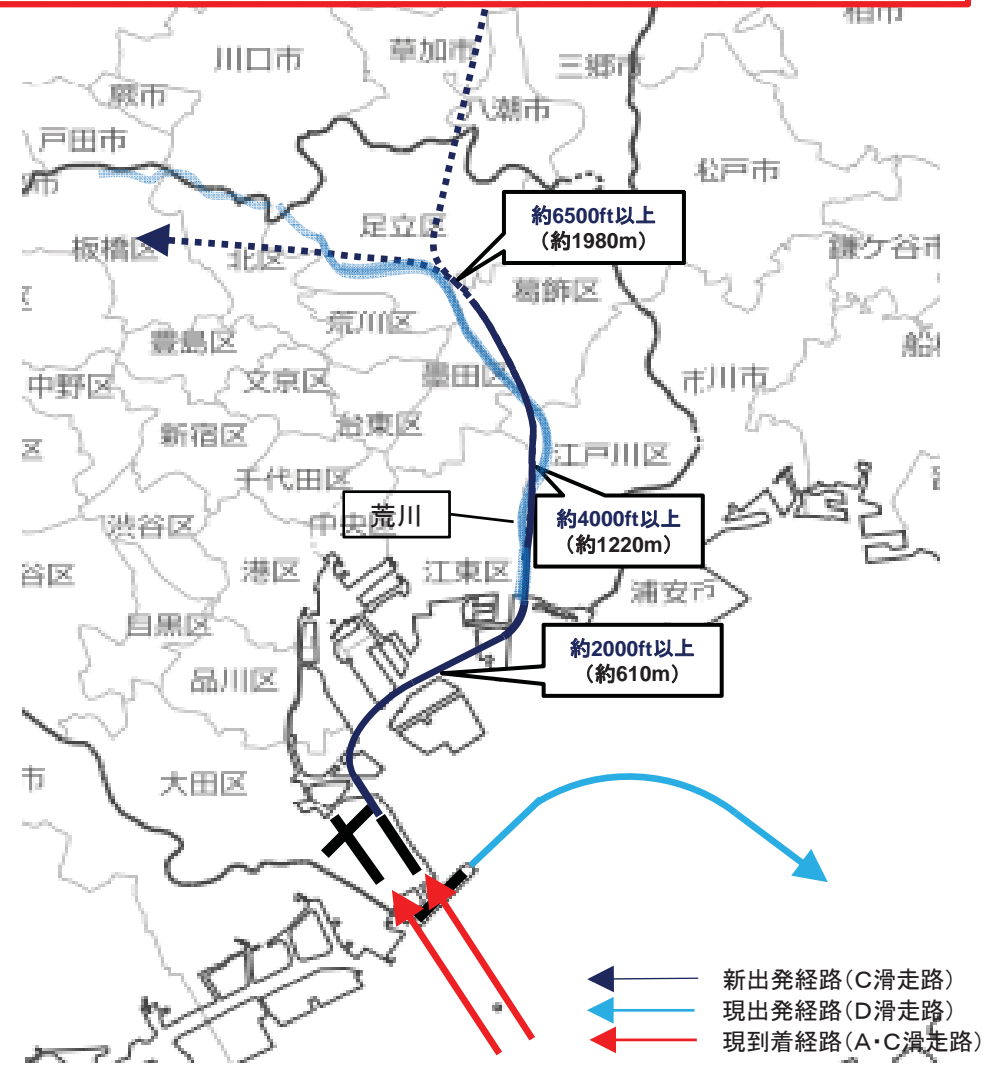


北風運用時の新たな経路案について

北風運用時の新たな経路 (時間値90回、北風運用比率は約6割と想定)



離陸時においては、急上昇を行い東京湾上空を利用して高度を確保する、荒川上空を利用して更に上昇する等により、陸域での騒音影響を軽減する想定。



具体的な経路運用の詳細については、今後の関係者との調整、管制運用上の検証を踏まえ、引き続き検討していく。